

声をあげよう！弾圧ゆるすな！

一当たり前の市民運動・労働運動を守ろう—
11.16 全国集会 報告

山本みはぎ

11月16日、大阪の西梅田公園において、1200人の参加者で表題の集会が持たれた。

安倍政権下で、特定秘密保護法や共謀罪など治安弾圧的な法律が成立する中、全日建関西地区生コン支部の正当な組合活動に対し、共謀罪の先取りともいえる、不当な弾圧が続いている。私たち、不戦ネットは市民運動として活動をしてきたので労働運動については少し遠い存在であるが、関西ナマコン支部は、労働運動だけではなく、沖縄や日韓などの運動にも積極的に取り組んでいる。とりわけ、「沖縄意見広告運動」を中心に担っており、不戦ネットが愛知での受け入れをしてきこともあり、一連の弾圧は看過できない。

全日建関西地区生コン支部の事件は、2017年12月に、滋賀、京都、大阪、和歌山でセメント輸送、生コン輸送の運賃を引き上げることと、大阪広域生コン協同組合の組織運営の民主化を求めた、ストライキに対しては「威力業務妨害」、職場のコンプライアンス違反の告発を「恐喝」、抗議を「強要」、組合活動を「組織犯罪」などとして、不当逮捕、長期拘留が続いている。逮捕者は延べ89名、うち73名が起訴されている。



集会は、呼びかけ人を代表して平和フォーラム共同代表の藤本泰成さんの主催者挨拶から始まった。続いて全日建連帯中央本部・菊池進委員長から弾圧の経過を報告と、関西生コンを支援する会を広げること、ILOなど国際的な働きかけも強化していくことなどの発言があった。

続いて登壇した、沖縄平和運動センター議長の山城博治さんは歌も交え、「関西生コンは沖縄の平

和運動にとってかけがいのない仲間。関西生コンの弾圧は私たちに対する弾圧である。辺野古でも100人近くの逮捕者が出ていている。宮古島では民家から200mのところに弾薬庫が作られている。沖縄戦では、20万人もの命がむざむざ捨てられた。韓国の仲間は民主化を命がけで闘ってきた。ファシズム、ヘイト、そして排外主義に対して立ち向かおう」という力強いアピールがあった。

更に、「表現の不自由展・その後」をつなげる愛知の会の高橋良平さんからは運動の経過とともに「表現の不自由展の中止に背景には、歴史改ざん主義と天皇制の問題がある。河村名古屋市長は攻撃をやめていない。反撃をしていきたい」との発言があった。

川口真由美さんの元気で心に染みるミニコンサートが集会全体を盛り上げた。

後半は、大阪労働弁護団の中井弁護士から、「そもそも関西生コンの事件は、刑事・刑法の問題ではない。長期の勾留も異様である」と指摘され、関西生コンの武委員長（勾留445日）に面会に行った際、同房の外国人の待遇改善に取り組んでいるという報告があった。そして、124名の連名で関西生コン弾圧事件に抗議をした自治体議員が次々発言し、最後に集会アピールを採択して集会を終えた。集会後は、大阪地裁まで「弾圧やめろ！」のシュプレヒコールをやりながらデモを行った。

■関西生コン支援について、「関西生コン労組つぶしの弾圧を許さない東海の会」が結成され、活動をしています。会員募集をしていますので、ご協力ください。↓以下のサイトを参照ください。

<https://kannama-tokai.jimdofree.com/>

関西生コン労組つぶしの弾圧を許さない東海の会

連絡先：名古屋共同法律事務所

TEL 052-262-7061 FAX:052-262-7062

「労組つぶしの大弾圧を許さない！
関西生コン支部支援！」



「労組つぶしの大弾圧を許さない！関西生コン支部支援！緊急カンパ」

ゆうちょ銀行口座振替 口座番号 00970-8-282882

加入者名：労働組合つぶしの大弾圧を許さない実行委員会

郷土部隊？＝郷土防衛隊＝徴兵制

さくはんのうけいじゆく。さくはんのうけいじゆく。松本 朗
す郷土部隊。さくはんのうけいじゆく。石破茂

沖縄県前知事である翁長さんの 2016 年発刊の著書『戦う民意』という本を読んでみました。この本の 125 ページに石破茂が「郷土部隊」というものについて述べる文がありました。内容はこうです。「私（翁長）は日米安保体制には賛成ですと安保体制に言及したところ、石破氏は国土防衛に関するかねてからの持論である郷土部隊について語り始めました。」

そして石破の発言は「辺野古には将来、自衛隊による海兵隊をつくったらどうかと思うんですよ。それは沖縄の若者で 100% 編成する。そうすると日米地位協定の問題もなくなり、沖縄県民による自衛隊の基地にもなるので、沖縄の人も喜んでくれるんじゃないでしょうか。」というものでした。「郷土部隊」という言葉は初めて聞いたのですが、正確には「郷土防衛隊」のこと、あり方は国によって違うようですが、アメリカの「州兵」のようなものようです。調べるとノルウェー、スエーデン、デンマークにも郷土防衛隊が存在し、韓国には大韓民国郷土予備軍、中国には中国民兵、朝鮮には労農赤衛隊が存在していました。普通、軍隊は国家に統帥権があり、その指揮で行動するのですが郷土防衛隊は地方自治体の指揮で行動する軍隊というところでしょうか。

徴兵は地方から

ここで石破が沖縄に「沖縄の若者だけで編成する海兵隊」と言った場合、その若者をどうやって集めるのかという疑問がわきますが、これはやはり徴兵制を行うのではないかと思います。徴兵制と言うと国が自国の国民を軍隊に編成するわけですが、国全体で行えば反対の声が大きく上することは間違いないので、まずは沖縄という一地方でやってみようと考えているのではないかと思いました。また石破は 2011 年 8 月 13 日の琉球新報のインタビューで「北海道など全国で郷土部隊を構成できればいい」と答えています（『戦う民意』126 ページ）。その理由として石破は将来、中国とアメリカの軍事的な力関係が崩れ、在日アメリカ軍が撤退する可能性があるから、対中国への抑止力のためだとしています。この

考え方だと今の憲法では「国は軍隊を保持しない」となっていますが地方自治体に軍隊を置くことについては触れられていないので、そこに目をつけて徴兵を企んでいるのではないかと思います。

竹やり軍隊

アジア太平洋戦争の時、日本では徴兵制が行われていましたが、それとは別の「徴兵」も行われました。戦争中のドラマや映画などで女性や年配の男性が竹やり訓練をするシーンがよくありますが、これも一種の徴兵で 1945 年（昭和 20 年）3 月 23 日、「国民義勇隊組織ニ関スル件」として閣議決定されて創設された「国民義勇隊」という組織でした。同年 6 月には、大政翼賛会・大日本翼賛青年団・大日本婦人会などを吸收・統合してしまいます。対象年齢は、国民学校初等科修了から男性 65 歳以下、女性 45 歳以下とされたほか、それ以外の者も志願することができました。任務と言えば消火活動や食糧増産、疎開作業などの工事のほか、軍需品の輸送や陣地構築などの補助的な軍事活動にあたるものでしたが、同年 6 月 23 日公布の義勇兵役法により法整備がされて「国民義勇戦闘隊」が編成され戦場にも駆り出されるようになりました。権太ではソ連軍との戦闘に参加してしまいます。

沖縄では少年が兵士に

さらに酷いのは沖縄で、国会の定める法律によつて、少年を召集して少年兵として戦闘に動員できるようにしてまつたことです。14 歳～17 歳の少年たちの軍隊は「鉄血勤皇隊」または「少年護郷隊」と言う名の組織でした。さらに、法律では女子も兵役に服し戦闘隊に編入できるとされていました。その数は 1780 名で約半数が戦死しました。ここで分かることは戦争が始まれば 20 歳以上の健康な男性だけではなく国民全体が戦争に動員されること、つまり軍隊が国民を守るのはなく、国民が軍隊になるということです。その結果、軍隊は何を守ったのでしょうか？ たまたま地上戦は沖縄の地で行われましたが、これが他県であってもおかしくなく、アメリカ軍が上陸すればどこでも同じ悲劇が起こったと思います。軍隊は国民を守りません。

なくても「郷土防衛隊」という形で「徴兵」を行ってくるのではないかと思いますし、また可能だと思います。日米安保条約はアメリカの戦争に協力するために日本中にアメリカ軍基地とアメリカ軍兵士を駐留させました。特に沖縄の基地はベトナム戦争、湾岸戦争、イラク侵略戦争で大いに貢献しました。その安保条約も今やさらに改悪され日本国内に基地を置くだけでなく自衛隊がいっしょになってアメリカ軍と軍事行動に協力できるようになっています。当然、郷土部隊が徴兵されればアメリカの戦争に協力し戦闘に参加することになります。絶対にあってはならないと思います。

侵略戦争の構造と歴史を学ぼう

侵略戦争をおこそうとする権力者たちはいつも民衆をだまして戦争に動員しようとします。または真実をオブラーントに包むようにして戦争の準備を進めようとするものだと思います。私たちは今の日本の国家が何を考え、何をしようとしているのか、本当に注意してみておかなければならぬと思いました。そして過去の侵略戦争の歴史を「悲劇」の面だけではなく、どのような構造でおこなわれたかも見ておかなければ、また「加害」と「悲劇」を繰り返してしまうと思います。安保条約を廃棄し、安倍政権と戦争勢力を打倒する民衆の闘いを作り上げていきましょう。

小さい「平和の少女像」を広げるキャンペーン

今すぐ日本の中に「平和の少女像」建てることはできなくとも、私たちがそれぞれ「小さい平和の少女像」を持つことは今でも可能です。その運動にご参加ください。 小さい「平和の少女像」を購入していただき、その少女像の写真を撮影、皆さんのが少女像に込めたメッセージを送ってください。 写真やメッセージの送付、お問い合わせは右記のメールまで。 31demo1919@gmail.com



《キャンペーンへの参加方法》

1. ご自分の「小さい『少女像』」の写真を撮影。 小さい「少女像」と一緒に写真を撮ってください。 撮影の場所は自宅、近くの駅前ついで、旅行先等、どこでも構いません。
2. ご購入された際持ちを書いてください。(表書きは問いません)
3. ご購入及び参加の場合は、E-mail(31demo1919@gmail.com)のほうに撮影された写真・撮影場所、印写等記載した添え文をお送りください。

*皆さんがからさられた写真もおひ文書は以下のfacebookページやホームページに載せ公開していきますのでご確認ください。参考までに一度ご覧ください。

https://www.facebook.com/peacestatuejapan/?modal=admin_todo_tour

<https://smallstatueofgirl.ameblo.jp/>

韓国併合100年東海行動



ご購入及び参加の場合は、E-mail: 31demo1919@gmail.com

送料込み：2500円